



お姉ちゃんと一緒に、元気に登校（尾川小学校・新1年生）

さかわ *Sakawa* 議会だより

54
2013.5.1

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents 目次



平成25年度一般会計	64億8958万円	2
注目事業	メガソーラー事業を実施	9
通学路の安全対策、十分か	(一般質問)	14
議会懇談会、各地区で開催へ		24

維新の志士、集結の地（川内ヶ谷 赤土峠）



観光振興の拠点として、 上町に観光協会を設立

平成25年度 一般会計予算

賛成11、反対2で **可決**

一般会計予算とは・・・佐川町の福祉・教育・防災対策など、住民サービスを行い、町政運営に必要な大事な予算です。年度初めの一般会計予算は当初予算と呼ばれ、1年間の町の運営が賄われます。

【賛成議員】

片岡 勝一、森 正彦、松浦 隆起、岡村 統正、
中村 卓司、氏原 義幸、西村 清勇、今橋 寿子、
嶋崎 正彦、徳弘 初男、藤原 健祐

【反対議員】

坂本 貞雄、松本 正人

3月定例会は、8日から15日までの会期で開かれました。
平成25年度一般会計予算をはじめ平成24年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案47件、町議会委員会条例改正1件、同意案1件、議員発議による意見書3件を審議し、全員賛成及び賛成多数で全件可決しました。議員発議による意見書1件は否決されました。
一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について、活発論戦を展開しました。

25年度 一般会計予算

64億8,958万円

新エネルギー対策

観光振興に重点予算



住みたい町へ、そして子どもたちのために

平成25年度の一般会計予算は約64億8958万円、前年に比べて3億39991万円の増となっており、前年度からの増加率は5.5%となっています。

予算編成の重点項目は、24年度に引き続き子育て支援、協働推進事業、防災対策、新エネルギー対策事業の4本柱となっています。

歳入

入るお金

25年度の自主財源（町民自身で賄う町の運営費）は約18億1922万円。主な収入となる町民税や固定資産などの町税が昨年より4.5%増の約10億6629万円。

国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は4.9%減の24億9300万円となりました。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）から2億9126万円を繰り入れています。

歳出

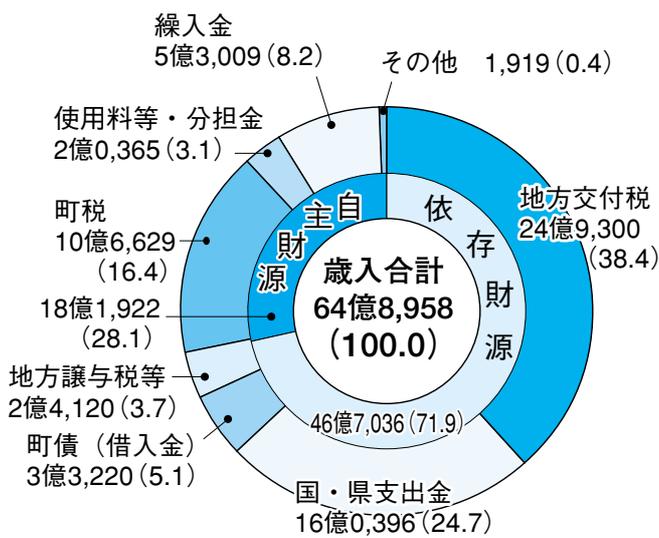
出るお金

人件費は昨年より0.2%減の9億3140万円。普通建設費は33.9%増の斗賀野町営住宅建設事業、役場庁舎空調整備事業、集落活動センター事業等で、7億8047万円となっています。

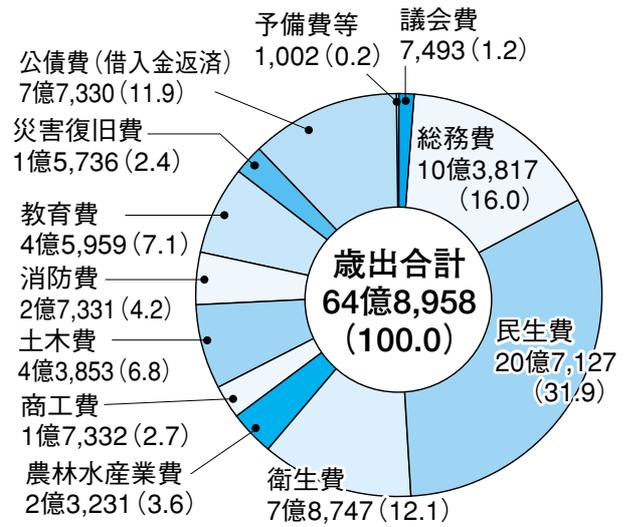
25年度予算 総額 125億8,337万円

住みよい安心の町づくりへ 積極予算

単位：万円（％）



25年度 一般会計予算



平成25年度各会計当初予算

(単位・万円)

会計名	本年予算総額	前年度予算総額	比較増減	議員賛否	
一般会計	64億8,958	61億4,967	3億3,991	賛成11反対2	
特別会計	国民健康保険	18億5,409	17億1,246	1億4,163	賛成全員
	住宅新築資金等貸付事業	338	474	△136	賛成全員
	学校給食	5,412	5,412	—	賛成全員
	農業集落排水事業	2,691	2,460	231	賛成全員
	特定環境保全公共下水道事業	1,235	533	702	賛成全員
	介護保険	17億5,083	15億8,875	1億6,208	賛成全員
	後期高齢者医療	2億950	2億879	71	賛成12反対1
	水道事業	3億3,499	3億1,672	1,827	賛成全員
病院事業	27億497	34億8,768	△7億8,271	賛成全員	
総計	134億4,072	135億5,286	△1億1,214		
重複額	8億5,735	7億9,465	6,270		
全会計純計	125億8,337	127億5,821	△1億7,484		

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

**3月
補正予算
ピックアップ**

一般会計補正 9,296万円
耐震化・整備修繕に重点

平成24年度3月補正予算

(単位：万円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		9,296	63億4,896
特別会計	国民健康保険	7,138	18億1,347
	介護保険	3,873	16億3,329
	後期高齢者医療	△98	2億 975
	病院事業	3,310	35億5,818

※病院事業会計は（収益的支出額+資本的支出額）を計上



耐震化工事が始まる黒岩中学校

黒岩中学校の耐震補強・大規模改造工事を25年度より前倒しして、行うもの。

学校耐震化事業

黒岩中学校の耐震補強工事

9,867万円

木造住宅耐震化事業

個人の防災対策の推進へ住宅の耐震改修費へ補助

1,660万円

個人住宅の耐震診断、設計、改修に要する費用やコンクリートブロック塀の耐震対策に要する費用の補助を行うもの。

古畑・峯1号線他、4路線の改良工事や、橋梁等の長寿命化を図るための調査を行うもの。

町道整備事業

町道の改良工事、調査を行う

1億910万円

老朽化した施設を改修し長寿命化を図るため、島田堰や清鏡堰の修繕を行うもの。

基盤整備事業

島田堰や清鏡堰の修繕を実施

8,400万円



修繕が必要な堰は他にも・・・ (写真は島田堰)

3月定例会で決まりました

条例改正

滞納整理課が 収納管理課に

町の収納管理を一元化し、さらなる債権管理の適正化を図る目的で、収納管理課を設置。これに伴い滞納整理課は、発展的に廃止される。

(4月1日施行)
(賛成11・反対2)

佐川町債権 管理条例を制定

町の債権に関する処理基準を統一に行うようにし、私債権の「管理に関する条例」及び「税外収入の督促手数料及び延滞金条例」を廃止するもの。

(4月1日施行)
(賛成11・反対2)



収納率向上が期待される収納管理課

鳥獣被害対策実施隊 の報酬を決定

25年度から新しく設けられる鳥獣被害対策実施隊隊員や佐川町史編纂委員会委員の報酬を定めるもの。

(4月1日施行)
(賛成・全員)

新型インフルエンザ 発生時に 対策本部を設置

新型インフルエンザ発生時に、対策本部や会議を設置し、町長任命により必要な人員を充てることのできる条例を制定。

(法施行の日から施行)
(賛成・全員)

介護サービスの 基準を制定

デイサービスやグループホームなどの地域密着型サービスを行う施設の設備や人員、運営などの基準を定め、効果的な支援を目的とする条例を制定。

(4月1日施行)
(賛成・全員)



いよいよ新館での診療が始まる高北病院

高北病院の 個室料を改定

高北病院の個室料を改定するもので、特別室を1日7350円、個室を3150円に変更し、新しい病棟に移転してから適用となる。

また、結核病床10床を廃止し、108床を98床に変更する。

(4月1日施行)
(賛成・全員)

牧野富太郎ふるさと館

を設置

牧野富太郎博士の生家を再生。歴史的風致維持向上計画の重点区域として上町地区の住民が自主的な活動を行うことや牧野富太郎博士の顕彰を行うことを目的とした施設として運営。その管理規定を定める条例を制定。
(規則で定める日から制定)
(賛成・全員)

佐川中学校
グラウンド
夜間のみ開放

総合文化センターのグラウンドを佐川中学校のグラウンドとすることになり、夜間開放施設として、夜間のみ使用可能とするもの。
(4月1日施行)
(賛成・全員)

工事請負契約の変更契約の締結

街なみ環境整備事業
浜口邸改修工事

(契約金額) 5752万3200円
680万2950円
の増額
(契約の相手)
大原建設株式会社
(賛成・全員)



生誕地に、再生された牧野博士の生家

3月定例会で決まりました

指定管理者の指定

管理を行わせる施設	管理を行う団体
加茂地区住民センター 老人憩いの家	加茂地区部落長会
斗賀野あおぞら公園	NPO法人 とかの元気村
ふれあいの里尾川	尾川地区活性化協議会
佐川町多目的集会施設	コスモス農業協同組合
牧野富太郎ふるさと館	NPO法人 佐川くろがねの会
佐川町立図書館	NPO法人 とかの元気村
佐川町立 虚空蔵山わんぱく広場	NPO法人 とかの元気村



佐川中学校専用になった、文化センターグラウンド

人事

監査委員



上田 益英 氏
高岡郡佐川町
加茂1285番地



25年度予算

議会が

この事業に 注目

3月定例会において、25年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。

防災対策



保育所の耐震化工事が本格的に始まる

町内の保育所の耐震化に向けて、私立保育所の耐震補強工事補助金として4121万円、公立保育所耐震補強設計委託に400万円。

保育所耐震化事業

私立保育所耐震補強工事補助
公立保育所耐震補強設計委託

4,521万円

学校の非構造部材耐震対策等の整備

佐川小学校の耐震対策等

2,650万円

佐川小学校の大規模改造と非構造部材の耐震設計、斗賀野小学校屋根防水工事を行うもの。

健康福祉

本年10月26日から29日に開催される「ねんりんピックよさこい高知2013」。本町でもウォークラリーの競技が実施される。

ねんりんピック よさこい高知大会

佐川町で競技を実施

1,190万円



昨年10月に開催されたりハーサル大会

玉割小橋の架け替え、佐川橋の耐震化工事など、町道改良工事を実施するもの。

町道整備事業

玉割小橋の付け替え工事など
町道の整備

2億1,060万円

インフラ整備



本年度に待ちに待った完成を迎える玉割小橋

斗賀野地区に6戸の町営住宅建設と進入路の整備を行うもの。

斗賀野町営住宅建設事業

町民から希望が多かった
斗賀野地区へ建設

1億1,950万円

四ツ白フスボリ地区に飲料水供給施設を整備するための工事費。

飲料水供給施設整備

四ツ白フスボリ地区に
飲料水供給施設を整備

4,200万円

環境対策 (新エネルギー対策)

庁舎空調設備が老朽化し、木質ペレットを利用した空調設備を備えるもの。

役場庁舎空調工事

木質ペレットを利用した
空調設備を設置

8,024万円

新エネルギー対策の一環として、西佐川駅裏の公共下水道処理場予定地に、県・町・民間の共同出資によるメガソーラー事業を実施するための出資金。

太陽光発電事業

新エネルギー対策の一環として
メガソーラー事業を実施

3,033万円

観光振興

町の観光の窓口を一元化し、広域観光の核としての役割を果たすための観光協会を設立。その運営費を補助するもの。

さかわ観光協会 運営費補助

観光協会の運営に補助
観光行政が本格始動

697万円



観光振興の推進力として期待される観光協会

これを聞いてみたいぜよ

議案質疑

新年度予算・条例改正等に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

太陽光発電事業（メガソーラー） どういった計画か

松本議員 太陽光発電事業が、県、町、民間事業者の三者共同出資によって運営を行われるというところだが、どういった計画でどんな益が得られるのか。

渡辺産業建設課長 県、町、民間事業者で新たな会社を設立して、メガソーラーを設置する事業を、西佐川駅東隣で行う。会社の運営は20年間を計画しており、町の収入は20年間で、配当金、土地の賃貸料、固定資産税合わせて1億4925万8000円となる。

地域に 相談はしているのか

中村議員 太陽光発電事業の予定地は、以前下水道事業の折に地域の反対があり中止になった。地域の皆さんに相談をして、オッケーになっているのか。

また遊水地でもあり、地域が心配する事故や、水害によりメガソーラーが故障することへの対応は。

榎並谷町長 メガソーラー事業について、地元へ説明は、行っていない。どういった形になるか見れば、会社の設立以前には関係者には説明はしていかねければならない。水に関しては支障がなく、もともと耕作地で遊水地ではないと判断している。電気施設には影響がなく、地域の皆さんにご迷惑をかけない施設だと判断している。

観光協会設立

やりたいことは何か

中村議員 観光協会が設立されるが、具体的にやりたいことは何か。

榎並谷町長 地域の活性化が図れるような体制を作っていきたい。町全体から言えば、上町というのは一部の地域かもしれないが、ここから、観光資源の開発を図りながら、広域的には、仁淀川流域の6市町村の観光協会と連携を取りながら幅広い活動にしたい。

職員配置の 位置づけは

松本議員 観光協会の立ち上げに際し、職員を2人配置するようだが、どういった位置づけでやるうとしているのか。

また、社団法人として、職員を雇うようだが、その給与、待遇は誰が保証し、何を基準に行うのか。

榎並谷町長 24年度から産業建設課の中に観光対策室を設けて観光事業を行い、観光協会の準備を1年かけて担当してきた。立ち上げの時期ということで、継続的なこととして担当者を派遣させたい。

法人化された時の職員の処遇については、町に準じた形で運営していきたい。



観光協会が入る浜口邸

議案質疑

**高齢者肺炎球菌
ワクチン接種、詳細は**

松浦議員 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種が始まるようだが、その詳細は。下川健康福祉課長 25年度から県の補助金で実施することになっており、対象者は70歳から74歳までの919名を想定している。

**就学援助費
3費はいくらか**

坂本議員 就学援助費の3費、いわゆるPTA会費、生徒会費、クラブ活動費が予算化されているが、その増加分は、小学校、中学校でいくらか。岩本教育次長 小学校は、生徒会、部活はなく、PTA会費のみで、21万7140円。中学校は、PTA会費、生徒会費、クラブ活動費、合わせて127万2550円。

**機織り機、
どつするの**

今橋議員 尾川地区のシルク棟であった場所が、集落活動センターになるようだが、シルク棟にある機織りの機械は、譲渡か破棄か、どつするの。渡辺産業建設課長 機織り機は、補助事業で導入しており、具体的にはまだ決まっていない。これから、地元の方を中心に、具体的に議論を進めていく。

**耕作放棄地再生への
補助、いくらか**

氏原議員 耕作放棄地再生利用対策補助金は10ア当たりいくらか。また、耕作をした後でも補助ができるようにはできないか。渡辺産業建設課長 補助金は簡易な再生作業の場合、10ア当たり5万円。また、農道をつける場合、1ア5000円、水路は1ア1000円の補助となる。申請前に再生工事をした場合は、補助の対象にならないので、事業の周知を徹底したい。



機織り機、今後の活用は・・・

収納管理課

設置のメリット

松浦議員 収納管理課というものが、今回唐突に出てきた。途中経過の話があれば、もう少し議論する機会があった。設置のメリットは何か。

**収納管理課に
改める理由は**

榎並谷町長 課設置のプロセスの中で議会に相談がなかったことは、その通りで、お詫言申し上げる。岡林総務課長 メリットは25の公債権私債権を一手に引き受け、現年分の滞納も一緒に引き受けることで、非常に大きなメリットがある。一人がいくつもの滞納を持っていく

松本議員 滞納整理課を、収納管理課に改める理由は何か。

西森副町長 収納管理の全て、町長が管理する債権の一元管理を行うためだ。



耕作放棄地への対策は重要課題

意見書

国にもの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

介護職員処遇改善 加算の継続、拡充 を求める意見書

(提出者 松本正人)

介護職員の処遇改善の
取り組みとして、平成21
年10月から実施されてい
た介護職員処遇改善交付
金制度は平成24年度介護
報酬改定で、介護報酬に
組み込まれ、介護職員処
遇改善加算として継続さ
れることとなった。

しかし、この加算制度
については「経過的な取
り扱いとして、平成27年
3月31日までの間」とさ
れ、次回の改定以降の加
算制度の継続について
は、極めて不透明な状況
だ。安全・安心の介護実
現のための介護職員の人
材確保を図るため、介護
職員処遇改善加算を20
15年4月1日以降も継
続し、対象職員を介護職
員以外の職種にも拡大す
ることを、強く要望する。

(要旨)

(賛成・全員)



介護職員の存在は介護事業の要

米軍輸送機 オスプレイの配備 見直し及び低空 飛行訓練の中止 を求める意見書

(提出者 徳弘初男)

垂直離着陸輸送機M V
| 22オスプレイは開発段
階から事故が多発し、30
人以上の犠牲者を出すな
ど危険性の高い軍用機で
ある。高知県では、これ
まで、嶺北地域を中心に
米軍機の低空飛行訓練が
繰り返され、2011年
10月には、嶺北でのヘリ
を伴う防災訓練中に米軍
機が低空で飛来し、ヘリ
との衝突事故寸前の事態
が発生した。中山間地域
で救急患者の命を守るた
めに防災ヘリやドクター
ヘリは欠かせないもので
あり、オスプレイの配備
見直しと低空飛行訓練の
中止を米国政府に強く求
めるよう、要望する。

(要旨)

(賛成・全員)

燃油関係の課税免 除措置の恒久化等 を求める意見書

(提出者 松本正人)

軽油引取税における課
税免除措置は、これまで
農家の経営に貢献してき
たが、地方税法の改正に
よって、このままでは平
成26年3月末で廃止され
る状況にある。現行の燃
油関係の税制措置がなく
なれば、今でさえ困難な
農家経営への負担は避け
られない。

よって、燃油価格の急
騰に対する緊急的な価格
抑制措置を講じ、軽油引
取税における農業用軽油
免税制度について恒久化
するとともに、免税対象
を拡大すること。農林漁
業用A重油に対する石油
石炭税の免税・還付措置
を恒久化し、生産コスト
の低減による農業者の経
営安定等を確実に担保
し、地球温暖化対策につ
ながる燃油消費量の削減
については、農業者の負
担が一切増加しないよう
万全の措置を講じるよう
要望する。

(要旨)

(賛成・全員)



燃料費の高騰は農家を直撃する

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

防災会議

女性委員登用を

総務課長 必要不可欠、実現したい

東日本大震災において、災害時における女性の視点の大切さがあらためて浮き彫りになった。災害時の担い手として、女性の力が発揮できるような仕組みが必要だ。

防災会議に女性の視点を多角的に反映させるため、複数の女性委員の登用を図るべきではないか。岡林総務課長 男女共同参画の視点から当然、女性委員の登用は必要不可欠と考えている。

こういったことも踏まえ、福祉関係、自主防災組織などからも含めて、女性委員の登用を実現していきたい。



通学路のさらなる安全対策が求められる

通学路の設定

検討が必要

教育長 PTA、関係機関と協議したい

昨年、登下校中の児童などが死傷する事故が連続して発生したことを受け、全国で通学路の緊急合同点検が実施され、本町においても行われた。道路の状況によっては、安全対策にも限りがある。通学路自体の設定を検討することも必要ではないか。

川井教育長 現在、各学校はPTAと話しをして、今の通学路が適切であると判断している。今後とも、今の通学路で大丈夫なのかどうか、PTAそして関係機関と協議をしていきたい。

胃がん・ピロリ菌検査

導入しては

健康福祉課長 実現可能な方向で検討

胃がんの90%以上がピロリ菌の感染による胃炎が原因とされている。発見された場合、除菌をすることにより、胃がんは予防できるとされている。そのためには、検査が必要だ。本町においても、胃がん検診でピロリ菌検査を導入してはどうか。

下川健康福祉課長 がんの発生率、死亡率は本町においても、非常に高い数値を示している。ピロリ菌検査は、がん予防の有効な対策のひとつとして、実現可能な方向で検討を重ねたい。



早期発見には検診が大事

25年度の予算案が提出された。町長は、3期目不出馬を表明したが、任期中に、進めておきたい事業は何か。

25年度予算

進めたい事業は

町長 **新エネルギーと観光の推進**

氏原 義幸 議員



歴史的町並みで観光振興（上町）

榎並谷町長 防災対策、少子化対策、協働推進事業、観光事業に取り組んでいく。特に、新たに新エネルギーの推進を目的として、住宅用太陽光発電への補助事業、西佐川駅裏の下水道処理場予定地跡の太陽光ソーラーの設置事業に取り組む。また、上町の古い町並み整備と観光協会を設立し、佐川の歴史的な背景を武器に観光振興につなげていきたい。

通学路の安全対策

十分か

教育次長

要望箇所は実施

全国では、集団登下校時に悲惨な交通事故が増えている。中学校の通学路など、本町の通学路の安全対策は十分か。

岩本教育次長 佐川中学校の駐輪場前の町道までの拡幅、転倒防止柵、児童遊園までの管理道部分、歩道の舗装、周辺の街灯の増設、横断歩道の設置など学校周辺の要望のあった対策箇所は実施できた。今後も安全対策を進めていく。

農業振興

目新しい事業は

産業建設課長 **新規就農予算を拡大**

農業関係の補助事業はレンタルハウス事業、新規就農者支援など多くの事業がある。県は25年度予算で産業振興費を大幅に組んでいる。農業分野で、目新しい事業はあるか。渡辺産業建設課長 現在、国の政策に基づいて「人・農地プラン」を作成し、3カ所で認定されている。これを受け、来年度は新規就農関係の予算を大幅に拡大し2910万円の予算を組んでいる。



夫婦で新規就農に向けて、研修に励む

来年度は4カ所の「人・農地プラン」ができる予定。また、レンタルハウス事業も3カ所で約4千万円の予算を組んでおり、個別の町単独事業等を活用しながら、農業振興に一層努めたい。



森 正彦 議員

上町の歴史的風致維持
向上計画の総事業費は、
総額約4億円、町負担は
2億1733万円となつ
ている。多額の資金が投
入されているが、これが、
町民のために生かされな
ければならない。

住みたい町への環境整備

前面に押し出せ

町長 観光振興で地域を活性化

町長の言う観光や交流
人口の増加よりも、住み
たい町への環境整備をも
っと前面に押し出すべき
だ。

榎並谷町長 歴まち法は、
文科省、農水省、国交省
の3省が提案をし、制定
された。このことから、
観光振興を含めて活用し
ていくことが基本理念と
の理解で、事業に取り組
んできた。

多額の投資をしている
ので、これを活用し、地
域の活性化へ、事業的に
成り立つ仕組みを作りた
い。



価格面などさらなる販売努力が求められる

町有住宅地

補助金の増額を

町長 具体策を検討

町有住宅地は現在20
区画残っているが、24年
度は1区画も売れていな
い。

町内の工務店を優遇し
た形で若者定住促進補助
金の増額をしようか。
それが直接的な町の活性
化につながる。完売を目
指すには効果が高い。

榎並谷町長 土地が下落
し、現行の200万円の
補助金では処分できない。
ただ、先に買っていただ
いた方が、不公平さを感じ
るのではないかとの思
いもある。

提案の補助金、県の移
住対策の事業等勘案しな
がら、具体的な方策を検
討し、早い時期に処分を
していきたい。

国道494号改良工事・斗賀野工区

完成はいつか

産業建設課長 平成20年代後半



1年でも早い完成が待たれている

国道494号改良工事
が川ノ内で行われている。
利用者の早期開通への期
待は大きい。完成はいつ
か。

また、早期完成へ関係
市町村と共に、強く要望
して1年でも早く完成す
るよう働きかけるべきだ。
渡辺産業建設課長 斗賀
野トンネルから須崎市と
の境界付近、斗賀野工区
1・1キロメートルの工
事完成は、所管の県越知
事務所によると、平成20
年代後半と聞いている。
榎並谷町長 用地確保な
ど、地元として環境を整
えて、県、国に力強い要
望を重ねていきたい。



岡村 統正 議員

町道維持管理

補修計画は

産業建設課長 路面正常化調査行う

町道古畑峯線は、工事車両の通行で傷みが激しい、今後の改修計画は。また、町道全般の補修計画はどのようなか。渡辺産業建設課長 町道古畑峯線は、平成24年度に工事車両の入口より峰までは表層の打ち換えを

実施する。25年度には砂防ダム工事が終わるので、26年度以降に舗装工を実施していく。24年度補正予算で幹線の町道の路面正常化調査を行い、国の交付金等を活用し計画的、具体的な補修計画を立て取り組んでいきたい。



コンクリート舗装の町道補修が急がれる

消防水利

把握が重要

総務課長 台帳を作成し情報を提供

加茂、尾川地区は昼間の火災に佐川分団が出勤しており、消防水利の把握が重要と考える。

また、一部地上に出ている水槽は場所により高さがある。団員の転落防止の安全対策を、早急にするべきだ。

岡林総務課長 消防水利は地図データに上書きすると共に、写真を撮り台帳を作成し、全消防団、自主防災組織にも情報提供していく。

水槽の転落防止柵は、松ノ木、古畑に設置をし、他の地区の危険な場所にも対応をしていく。

水槽の転落防止柵は、松ノ木、古畑に設置をし、他の地区の危険な場所にも対応をしていく。

観光振興・公衆トイレ

整備できないか

町長 検討課題として受ける

商工会裏の、町が管理している公衆トイレは時代遅れのトイレといえる。大型観光バスが、休祭日に役場の駐車場を利用したときは、役場、商工会のトイレは使用できない。洋式便器、車いす用トイレを設けたトイレを整備できないか。

榎並谷町長 上町の再生、奥の土居、牧野公園も含めて総合的に考えていかなければならないと思っている。観光客を迎える体制もある程度、必要と思っている。今後、大きな検討課題として受けたいと思っている。



観光振興には、トイレの整備も重要



坂本 貞雄 議員

平成25年度の国の補助事業として、緊急防災・減災事業費、地域元気づくり事業費がある。地方公務員の給与引き下げ分の額がそれに相当すると聞いているが、本町

地方公務員給与

減額されるか

総務課長 **引き下げの必要ない**

において減額されるとすれば、これほどの額になるか。

岡林総務課長 本町職員のラスパイルズ指数は県下34市町村中32位の91.7%であり、給与引き下げの必要はないと考える。地域元気づくり事業費としては、3300万円交付税算入される予定。



大きな打撃となるTPPにJAは断固反対

TPP

JAとの連携は

町長 **情報交換していく**

安倍首相は、日米首脳会談で聖域なき関税撤廃はないとして交渉参加に踏み出そうとしている。

町長は、TPPについて断固反対を言ってきたが、変わりないか。農林業者の反発は強い。JAとの連携を考えよ。

榎並谷町長 TPPに断固反対は変わらない。県町村会、町村議長会でも決議しており、地方自治をあずかる立場で国に働きかける。

JAは、JAの立場で運動を展開しており、組合長とは情報交換をしていきたいと思っている。

メガソーラー・鷹ノ巣養豚団地跡

計画の概要は

総務課長 **民間会社が事業を推進**

県内でメガソーラー事業が始まり、各地で計画されている。本町でも、JR西佐川駅東の町有地と鷹ノ巣養豚団地跡に計画されている。鷹ノ巣養豚団地跡の計画の概要は。岡林総務課長 佐川町メガソーラー設置事業実施要項に基づき、鷹ノ巣養豚団地跡で事業を推進。事業者である民間会社と基本協定を締結。20年間の契約で、土地賃貸料3600万円、固定資産税約4000万円の収入が見込まれる。



新エネルギー対策に活用される養豚団地跡



中村 卓司 議員

佐川町総合計画

見直しが必要

総務課長 実施計画を見直す

平成18年に佐川町総合計画審議会から答申された「総合計画・ほごいまちづくり」は、佐川町の羅針盤とも言える。これが今まで一度も見直されていない。

時代に合った見直しが必要ではないか。

榎並谷町長 見直しはしていない。しかし、情勢もかわりつつあるので中身を精査、検討して見直しが必要であれば見直す方向で進めたい。

岡林総務課長 総合計画は、基本構想と基本計画、実施計画で構成されている。基本となる構想と計画は、時代の流れには対応していると考える。

25年度に実施計画を見直す方向で考えている。



町民生活に直結するごみ収集事業

ごみ収集事業談合問題

今後の対応は

町長 高松高裁に控訴

ごみ収集委託事業で町民から談合があったとの提訴があり、2業者に1455万円の請求をせよとの判決が出た。今回の経過と今後の対応は。

横山町民課長 経過は平成23年6月27日、町民より監査請求が出され、同年8月末に請求を棄却。

同年9月21日に町民が高知地裁に告訴。平成25年2月に原告勝訴の判決が下された。

榎並谷町長 ごみ処理について、競争原理を取り入れなければならぬとの判断から現在に至っている。

町民の方から提訴され、地裁で結論が出たが、町として、談合はなかったとの判断から、もう一度判断を仰ぎたいということで、高松高裁に控訴した。

河川環境の保全

考えはあるか

町民課長 定期的な水質検査、検討



きれいな河川を次の時代に残したい

本町は住みよい町とされているが、産業廃棄物による川の汚染、春日川、柳瀬川、斗賀野川等の環境問題についてこのぐらいの考えを持っているか。

横山町民課長 仁淀川清流保全推進協議会で一斉清掃や、水質検査等は実施しており、良い状態は保たれている。

定期的な水質測定を今後検討し、河川保全には適切に対応していきたい。

その他の質問

○町長は、次期選挙は不出馬だが後継者は。



今橋 寿子 議員

牧野博士生誕150年記念事業は1月18日の墓前祭を最後に終了した。25年度以降も牧野公園の10年計画の取り組み、観光協会の立ち上げ等により地域振興の発展に結びついていくと思われる。

野生生物の保護

条例制定を

総務課長 制定しない

この事業の余韻のあるうちに、野生生物の保護に関する条例を制定する価値がある。まだ、できていないが、できない理由は何か。

岡林総務課長 高知県には、高知県希少野生動物保護条例があり、本町もその範囲に入っているので保護条例は制定しない。

野生動物植物の啓発は重要であり、広報等を通じて野生生物保護の大切さを訴え意識高揚を図っていく。



再生が進む牧野公園

広井勇生誕150年記念事業

成果どう生かす

教育長 ふるさと佐川に誇り持たす

2月3日、桜座において、近代土木の先駆者である広井勇博士の生誕150年記念として講演会「広井勇を語る」が開催された。この成果を今後どのように生かしていくか。

川井教育長 県内外から約250名の参加者があり、広井博士の業績・名声がその道において全国区であることを改めて実感するとともに、広井博士を通じて佐川町のことを多くの方々に知ってもらえた。

今後は佐川町の偉大な先人たちについて、子どもたちが学ぶことによってもたが学ぶことによってもふるさと佐川に愛着と誇りを持つ教育を推進していきたい。

佐川町教育振興基本計画

重点項目は

教育長 みんなで育む教育を推進

23年度に策定された佐川町教育振興基本計画は、第4次佐川町総合計画を踏まえた上のものであり、どれをとっても欠かすことのできない項目である。その中で25年度の重点的な取り組みは何か。

川井教育長 学力向上と豊かな心を育む対策の充実が喫緊の課題であると感じている。

しつけや基本的生活習慣の確立等、学校に過度に依存している状態が見受けられるため、家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てるという、みんなで育む教育を推進する仕組みづくりについて、25年度は学校、PTAと検討協議を行い、26年度はその新たな仕組みの実現を図りたい。



多くの参加者を迎えた講演会

制度改善を

町長 改善すべきは改善したい



改善が求められる、ごみ収集事業（清掃センター）

2月8日、一般廃棄物収集運搬業務における業者選定にあたっての違法行為確認の損害賠償を求める住民訴訟に対する高知地裁の判決があった。

松本 正人 議員



見積もりによる落札が導入されたのは、平成20年度からだが、それ以前から何度も、事業の性格上、導入すべきでないと言ってきた。こつこつたことを抱いた町の責任は大きい。制度そのものについて改善を図るべきだ。横並谷町長 今回のような混乱を招くような制度は、どうかという思いもある。改善すべきは改善しながら対応していきたい。住民へのサービスの低下を招かないような制度設計を検討していきたい。

国保会計

赤字対策は

町民課長 財源の増、必要

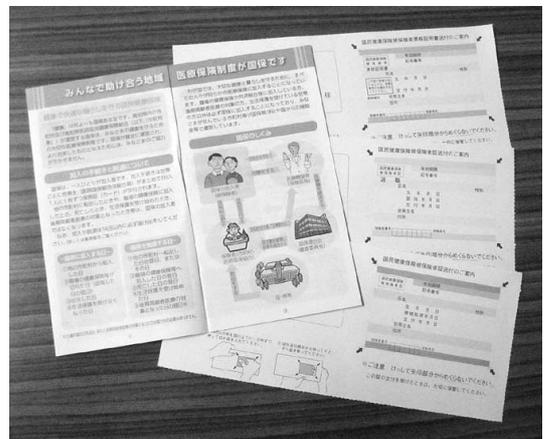
国保税は非常に高く、支払いのできない町民も多くいる。ただ、本町の24年度は国保会計の基金を取り崩し、赤字会計が続くことも懸念されている。喫緊の対策が求められている状況だが、対策は考えているか。横山町民課長 国保会計の単年度収支は、平成22年度以降平均で約6千万円の基金を取り崩しており、平成26年度には基金が底をつくことが予測されており、早急に財源確保が必要となる。医療費の増額に対する財源の増を求める必要があり、国保税率の引き上げ、一般財源からの繰入が考えられる。

住宅リフォーム助成事業

進んでいるか

産業建設課長 さらに検討したい

住宅リフォーム助成制度の導入について、12月定例会で質問した際「耐震化事業と一緒に行うことを考えていきたい」との、答弁があったが、どこまで進んでいるか。渡辺産業建設課長 12月定例会以降、県と相談した結果、耐震改修とリフォームをセットで行うことにより、メリットとデメリットがあることが分かった。平成25年度の予算化には間に合わないが、26年度以降に事業ができないか、さらに検討していきたい。



早急な対策が求められる国保会計

わがまち

人

わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。今回は、高齢化社会を地域で支える組織を立ち上げる活躍している出間緑さんにお話を伺いました。

JACコスモス

助けあい組織に「二二」会

― 助けあい組織にここに
こ会を立ち上げた動機は
何ですか。

平成12年に介護保険制度が始まることになり、この制度だけではカバーできない必要なサービスがあつて、これは住民自らがやらないといけないと思ひましてJACの女性部の中で平成10年に立ち上げました。

― 具体的にはどんなことですか。

元氣な高齢者の集いの場、ミニサロンへの協力や地域での見守り、さらにはJACに働きかけてのヘルパー養成などです。

― 立ち上げて約15年リーダーとして活動してき
ましたが、どうですか。

活動が定着して、最初は特異的な活動だったが、今は普通の活動になりましたね。
― 苦労はありませんでしたか。
仲間とともにやってきましたので特に苦労はありません。逆に楽しかったですね。でも、いつの間にか自分が年を取ってしまいました。



いすま みどり
出間 緑 さん



共に元氣でと、サロンをサポート



元氣に百歳体操

― 現在も活動していま
すか。

年齢的にはお世話をしてもらうほうですが、年寄り同士が共に頑張っていくのも良いかなと思つて続けています。

― 高齢化社会への提言
はありませんか。

高齢者自身が、まだまだ若いと思つて、皆と楽しくやれることをやる、という助け合いのシステムが大事だと思います。

ありがとうございます。これからもお元氣で高齢者のお手本としての活動を期待しています。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元氣のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。
ご連絡は議会事務局まで。

♡佐川に恋して♡

佐川町へのラブレター

■佐川町のどんなところが好きですか。

身の回りの山や畑で、季節の花や旬の野菜がみられるところがですね。

■この仕事を選んだ理由は。

人と話すのが好きだったからです。スーパーなら、従業員だけでなく、買い物に来て下さるお客様ともお話ができると思ったからです。

■仕事は楽しいですか。

買い物に来てくださるお客様に顔を覚えてもらって、お客様の方から声をかけてくださるので、そういうところがすごく楽しいです。

■これからの夢はなんですか。

介護事務の資格を取るための勉強をしています。何が一番自分に合っているのか、見つけながら、新しい仕事にも挑戦してみたいと思っています。



■町や議会に望むことはありますか。これからの夢はなんですか。

今、桜の木がどんどん減っているように思えるので、桜の木をたくさん植樹して、桜の名所にしてほしいですね。

エリカさんの今後の活躍を期待しています。頑張ってください。お店で見かけたら声をかけてあげてくださいね。



やまうち 山内 エリカ さん

議会事務局・職員紹介

「よろしく

お願いします」

議会事務局長 河添 博明

みなさん、こんにちは。私は4月1日付の人事異動で議会事務局に配属になりました河添です。

昭和59年、佐川町役場に奉職以来、地域振興対策室、建設課、総務課、税務課などで仕事をしてきましたが、議会事務局の仕事は初めてです。不安もあり、微力ではありますが、議会という重要な機関の事務局として、円滑な議会活動の補助に努めていきたいと考えています。

どうぞ、よろしくお願いたします。



あれはどうなったか?



先が見えない霧生関公園事業

霧生関公園、どうするのか

(平成24年12月定例会)

霧生関公園の工事は、現在までに3億1千万円かかっているが、そのうち8割が交付税措置されている。この事業を完全ストップさせれば2億4千万円以上を国に返さなければならなくなる。最終的な町単独の負担が、1億6千万円と想定されているため、余計に損になる。やめるわけにもいかず、前にも進めない状況だ。これからどうするのか。(松本 正人議員)

町答 長弁

工事再開は未定

土地の境界について、民有地との話し合いを行っており、調整がつき次第、平成23年2月に許可が下りた開発許可について、変更申請の手続きを行う。工事再開は今のところ未定。

どうなった

当初の目標どおり造る

佐川トンネルの工事による残土の受け入れも予定しており、25年度中には無理ではないかと考えている。当初の目標どおり、町民の方々に広く利用してもらえるようなものを造っていけるよう努力をしていく。

あの質問のゆくえ

No.25

平成25年度予算

(単位：万円)

会計名		予算額	前年度比
一般会計		9億3,577	△4億2,639
特別会計	特別養護老人ホーム	12億6,714	△355
	養護老人ホーム	1億1,876	526
	障害者支援施設	1億6,610	△249
	ふるさと市町村圏	3,023	△2億9,421
合計		25億1,800	△7億2,138

《組合長 諸般報告》
衛生センター
稼働以来47年が経過し、老朽化が進行している。平成24年度に実施設計が終了し、25年から27年度にかけて改修工事を行う。

高吾北 広域

町村事務組合 議会

3月4日

処理センター
焼却灰処理ピット
の残余年数は約4年と見込んでいます。

消防署
消防本部新庁舎は、1月末に完成し、2月1日から新庁舎で業務を開始しています。

消防・救急無線は、平成26年度のデジタル化に向けて、県及び県内消防本部と足並みをそろえた整備計画を立て、調査・検討している。

—住民の信頼に応えられる議会へ—

議会懇談会を各地区で開催へ



多くの要望や提案があった前回の議会懇談会

昨年12月から議会の活性化に取り組んでいる「議会活性化協議会」の中で、検討を行ってきた「議会懇談会」を、昨年11月23日に開催しました。部落長を対象に開催し、35人の部落長に参加を頂きました。

当初より、「議会活性化協議会」の中でも各地区での開催も検討しており、今回、開催することになりました。「住民に信頼される議会」に向けて、町民皆さんの生のお声をお聞きしたいと思っています。多くの方の参加をお待ちしております。

日時	地区名	場所	時間
5月2日	黒岩地区	黒岩多目的集会所	19時から
5月10日	尾川地区	尾川地区住民センター	19時から
5月17日	加茂地区	加茂地区住民センター	19時から
5月23日	斗賀野地区	J A コスモス斗賀野支所	19時から
5月31日	佐川地区	役場2階大会議室	19時から

あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月7日(金)午前9時開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長 岡村 統正
副委員長 坂本 貞雄
委員 松浦 隆起
委員 片岡 勝一
委員 森 正彦

※わかりやすい紙面に心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

編集後記

全国町村議会広報コンクールで、越知町が全国3位との記事が高知新聞に載った。このコンクール、全国の町村から245点が出され、その中で、住民にとって議会がどう動いているか、分かりやすく正確に伝えられているかを基準に審査される。

我が佐川町も応募していた。受賞は逃したものの「Aクラスの力を備えている」との評価であった。Aクラスと評価されたのは四国では徳島県勝浦町と本町の2町しかない。手前味噌ながら、良い成績であったと思う。

この広報の優劣は、編集の内容と技術で決まる。だが、議会活動の内容が良い、という基礎がない限り良い紙面にはならない。当議会では、5月に各地区で住民との懇談会を開催する。多くの皆さんの意見を聞き、議会活性化につなげたい。そしてさらに良い広報誌としたい。

森